



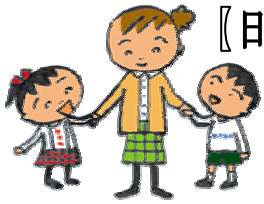
まきのほら

教育委員会だより

家庭と地域で子どもを育てる「市民のつどい」を開催します

【日時】 8 月 3 日 (土) 9 時～(開場 8 時 30 分) 【会場】 相良総合センター「い〜ら」

「わたしの主張 2013」作文コンクール 市内応募作品から優秀賞決定 表彰と発表



青少年の健全育成と明るい社会づくりを考える「市民のつどい」が 8 月 3 日に、相良総合センター「い〜ら」で開催されます。

第一部では、中学生の「わたしの主張 2013」作文コンクールの入賞者 4 人の表彰と、それぞれの作文が発表されます。

優秀作品を受賞した生徒を紹介し

読書の輪

藤田 稜子さん

(榛原中 3 年)

私は読書が大好きです。嫌なことがあったり、落ち込んだときには本を読みます。本からは元気をもらいます。読書のおかげで友だちも増えました。あらためて本の力はすごいと気付かされました。



読書をしていない人が増えていることを聞きました。私は読書が苦手な人たちに、少しでも読書の楽しさを伝えたい。少しでも読書の輪が広がりますようにと願いながら今日も図書委員長の仕事をしています。

小さな命を大切に

榎林 由佳さん

(牧之原中 3 年)

昔に比べて結婚する時期も遅くなっており「高齢出産」という言葉をよく聞きます。不安がある母親が出生前診断を受け、お腹の赤ちゃんに異常が見つかる

ば中絶を選択する方もいます。授かった命を絶つてしまふなんてかわいそう過ぎます。

私はまだ親の苦勞を知りませんが、子育てはとても大変だと思います。ましてや障害がある子どもを育てることとはさらに大変ですが、プラス思考で子どもが幸せな生活を送れるように努力している親を尊敬しています。このような考え方が世界に広まり、障害を持つ方や家族が生活しやすい環境を充実させることが大切だと思います。

新しい方法

五十棲 英さん

(御前崎中 3 年)

私は原発事故や原発反対運動は他人事のようで興味がありませんでした。東日本大震災で起きた福島原発事故により、福島に住んでいる母の友人が職を失い、他県に引っ越したという話を聞いてから危険性について考えるようになりました。



私たちの暮らしのすぐ近くにも原発があることに恐怖を感じています。必要電力量がまかなえないから原発が必要であるという人もいます。しかし、私は日本の原発は再稼働させず、今ある発電技術の向上、新しい発電方法の研究を進めるべきだと思います。



幸せを生みだす

榎林 沙弥さん

(相良中 3 年)

私は最近「いいことがない。悪いことが起こる」と感じるようになってきました。

幸せや、不幸せの感じ方は人それぞれ違います。不幸を感じる人は、常に不幸なことばかり意識していると思います。身近にある幸せだけを意識してみればどうでしょう。



「自分は案外、幸せな生活をしているな」と感じるようになりました。先生の話を聞くクラスのみんなが笑顔でした。それに気づいた瞬間、すごく幸せな気分になりました。クラスのメンバーの一員としていられること、ここで授業を受けられることに幸せを感じました。

心がけひとつで不幸は幸せに変わります。私は今、とても幸せを感じています。



第二部では、記念講演会が行なわれます。

演題 「想定外を生き抜く力」

～大津波から生き抜いた

釜石の子どもたちに学ぶ

講師 群馬大学 新教授

片田 敏孝氏

※入場には整理券が必要です。

社会教育課 相良庁舎 3 階

相良公民館 榛原文化センター

細江コミュニティセンター

の各所にて配布しています。



史料館へ行こう！！

牧之原市史料館は、江戸時代の大政治家・田沼意次侯をテーマにした全国で唯一の博物館です。



【田沼意次侯肖像画（市史料館蔵）】



【七曜紋入り刀だんす】【七曜紋入り飯櫃】

田沼意次侯とは？

今から約 250 年前の江戸時代中期、幕府最高の役職である老中を務めた人物で、私たちの住む牧之原市に領地を持っていました。先進的な政策を進め、幕府の財政再建を行い、近年では、近代日本の礎を築いた偉大な政治家として高く評価されています。

日本に 1 枚しかない若い頃の肖像画（左上）をはじめ、七曜紋入りの刀だんすや飯櫃(めしびつ)など、数々の田沼家の至宝が展示されています。



当史料館はキッズアートプロジェクトに参加しています。
県内の小学生を対象に、専用のパスポートを受付で提示すると、入館料が無料になります。皆さまのご来館をお待ちしています。

【偉人展のお知らせ】

平成 25 年度 史料館特別展「牧之原市の偉人展」

日時：11 月 9 日(土)～11 月 24 日(日) 8:30～17:00

会場：史料館 2 階ホール 入場無料

内容：鈴木梅太郎、藤田まさなど、牧之原市の偉人の資料を特別に公開し、その功績を紹介します。



スクールチャレンジャー

～特色ある校外活動のススメ～



牧之原中学校

～地域と共に歩む学園茶園を利用したキャリア教育～

牧之原中学校では、総合的な学習の時間の一環として、お茶の販売、生産などを通して地域産業への理解を深めるとともに、体験を通したキャリア教育に力を入れています。牧之原中学校の学園茶の歴史は長く、キャリア教育という言葉が登場する遙か以前、昭和 22 年の開校とともに始まりました。



【お茶摘みでの茶娘・茶息子】



にし、販売のための準備をします。

新茶の販売体験を例年通り東名高速道路牧之原サービスエリア下り線にて、5 月 18 日に実施しました。今年は、新たに富士山静岡空港でも、新茶の呈茶・販売を実施しました。さらに空港・サービスエリアの 2 カ所で販売と吹奏楽の演奏とをコラボレートしました。特に富士山静岡空港ターミナルビル 3 階での中学生の演奏は、初めてのことで、呈茶コーナーには保護者・地元の皆様をはじめ市長・議員・市教育委員会の方々も訪れてくれました。

こうした学園茶園に基づく約 67 年間の体験活動は、保護者、教育後援会、地域の皆様の温かい御支援・御協力により続いていることを生徒・職員一同深く理解しており、感謝の念を育てる徳育にも通じています。



【静岡空港での呈茶サービス】

広さ約 625 平方メートルの学園茶園で、年に数回草取りや施肥を行います。お茶摘みは八十八夜前後に行いますが、今年は 5 月 1 日に 75 人の中学生と隣接する牧之原保育園児や牧之原小学生とが一緒に、一芯二葉ずつ丁寧摘みしました。目を引く赤いエプロンにかすりの着物を着た茶娘・茶息子は 3 年生で、毎年恒例の衣装を着ることを、生徒だけでなく保護者も楽しみにしています。

収穫された 180 キロの生葉は“茶ぐりん”さんや地元の茶農家の皆さんのお力で、32 キロの製茶となり、生徒たちはこれを 50 グラムずつ袋詰め



歴史人物副読本



「牧之原の偉人」が新刊しました

牧之原市教育委員会では、市内の子どもたちが、郷土の発展のために尽力した先人の生き方や考えを知ることにより、郷土の誇りや郷土愛を育てることを目的として、郷土の歴史上の人物の功績をまとめた歴史人物副読本を作成しました。

全国的に活躍した人物（田沼意次・藤田まさ・鈴木梅太郎ほか）や郷土の発展に尽力した人物（本間賢三や山崎貞一ほか）など、分野別に 39 人を掲載しています。本の体裁は B5 判 32 ページのオールカラーで、わかりやすいように写真や図版なども多く掲載しています。



文化財保護審議会委員や有識者、教諭などの編集委員 6 人が編集にあたりました。

市内小学校（6 年生のみ）や中学校（全校生徒）に配布したほか、市内施設等に配布し、社会科資料として活用します。

一般の希望者には、市史料館、榛原文化センター、相良公民館において、1 冊 300 円で販売しています。

インフォメーション

夏休み「理科の自由研究」相談会

5 人の講師の先生が理科の自由研究について君たちの疑問、質問になんでも答え、アドバイスをしてくれます！

◆日程及び会場◆

平成 25 年 8 月 4 日(日)

受付(午前) 9 時～11 時 30 分 牧之原市史料館 2 階

受付(午後) 1 時 30 分～4 時 さざんか(ふれあいホール)

◆対 象◆ 小学生、中学生

◆参加費◆ 無 料

◆その他◆ 事前予約の必要はありませんので開催時間内で都合の良い時にご来場ください。ただし、小学生は親子で参加して下さい。

※詳しくは HP をご覧下さい※



〈お問い合わせ〉山崎こども教育振興財団
(牧之原市教育総務課内) 電話:53-2642

牧中に届いたロスからのメール

牧中学生の新茶販売体験。そこでお茶を購入した方からこのようなメールをいただきましたので紹介します。なんとロスサンゼルス在住の方です！

「5 月 18 日牧之原サービスエリアでお茶を購入しました。アメリカにもって帰り、お友だちと一緒に飲みましたが、『こんなに新鮮な美味しいお茶を飲めるなんて幸せ』と彼女も言ってました。中学生の生徒さんが作ったとは思えない、プロの味でした。アメリカで美味しいお茶を購入するのは至難の業です。運がよければ日系のマーケットで買うこともできますが、美味しいかどうかは買ってみないとわからないですね。最近、アメリカ人の間でも日本のお茶は人気で、よく飲まれているようですが、はたして本当のお茶の味を知っているかどうかは疑問です。未だ砂糖を入れて飲んでる人を見かけますから。(紅茶の感覚なんだろうね。) 皆さん、将来はお茶畑を経営するのでしょうか？手間暇かかるでしょうが、頑張って美味しいお茶を作ってください。」

牧中ではメールが届いて拍手喝采！

驚いた生徒たちも、これを励みに頑張りますとのことでした。

図書館「夏休みおはなし会」を開催します

おはなし会では、絵本の読み聞かせや工作を行います。楽しい話、不思議な話、いろんな話が待っています。また、8 月 7 日(水)開催のおはなし会には、工作の特別講師として相良高校科学部が来てくれます。参加費は無料です。どなたでも参加できますので、お友達、ご家族、

【相良図書館】

8 月 1 日(木) 午前 10 時～午前 11 時

8 月 7 日(水) 午前 10 時～午前 11 時

※特別講師:相良高校科学部(8 月 7 日のみ)

【榛原図書館】

8 月 6 日(火) 午前 10 時～午前 11 時

【参加方法】

事前申込みは必要ありません。

当日、開始 5 分前までに図書館へお越しください。

【問い合わせ】

社会教育課 赤堀・坂本 電話:53-2646



文化財の紹介

一十六羅漢の図 平井頭斎筆 (県指定文化財)

平井頭斎(1802～1856)は、江戸時代後期を代表する南画家で、現在の牧之原市細江字青池で生まれました。幼い頃より書画の才能に秀で、谷文晁や渡辺崋山に弟子入りして腕を磨き、山水画や人物画に優れた作品を残しました。なかでも、円成寺に伝えられる「十六羅漢の図」は、傑作の 1 つに数えられています。





わが校・わが園じまん

市内の小・中学校、幼稚園・保育園の『じまん』
を毎号、紹介していきます。お楽しみに！



坂部保育園



【こんなにとれたよ!!】



【ん〜、これはおいしい!】

園庭の隅には、27m²ほどの畑があります。2月に、保護者の方から種芋の植え方を教えていただき、子ども達がひとつひとつ丁寧に植え付けたじゃがいもが、そろそろ掘り出せる時期になってきたので、祖父母の方に呼びかけ一緒に掘る準備を始めました。

そしていよいよ収穫の時。

「みてー、おっきいのがとれた!」「わー、たくさん!」「ハートのかたち♡」と元気の歓声と共に、次々と掘られていくじゃがいも。大きさも形もいろいろで手にする子ども達の歓声も様々ですが、どの子もみんな飛びっきりの笑顔でした。収穫の後は、畑で採れたじ

ゃがいものたっぷり入ったカレーライスを食べました。汗を流し自分たちの手で掘ったじゃがいもは格別の味!祖父母と一緒に食べることも一層味を引き立ててくれたようです。

坂部保育園は、二世帯・三世帯の大家族の中で生活する子どもが多く、日頃からお年寄りとの自然な形で交流ができています。また、近所の子どもにも孫と同じようなまなざしを向け、声を掛け見守ってくださっています。

地域の方から愛される心地よい環境の中で、子どもらしく元気に遊び、心優しくたくましい子に成長していく姿を楽しみにしていきたいと思っています。

地頭方保育園

「ポップコーンの味がする」「あま〜い!」と炊きたてのごはんを口にしたら子ども達の歓声が響きます!子ども達にお米の炊ける様子(匂いやお米の変化)を見せてあげたいと思い、地頭方保育園ではガラス鍋を購入しました。ガラス鍋に火を入れて、湯気が出たりポコポコと沸騰してくる様子に「ポップコーンの匂いだ」「いい匂い」と匂いの変化に注目したり、水が無くなった様子に気づき「お米が飲んじゃったなら」「お米の中に入ったんじゃない?」と会話も弾んでいました。ごはんが炊き上がり、お鍋の蓋を開けるとお米が立っていてつやつや!!炊き立てのご飯をスプーンですくって一口食べた時の子供たちの何とも言えない

ほのぼのとした笑顔がとても印象的でした。そしてこの日はおにぎり作りにも挑戦!「三角にするの難しいなあ」「お家でママに教えてもらったよ」と、とても楽しそうでした。やはり自分でつくったおにぎりは格別だったようです。

地頭方保育園では給食の先生と協力して、お茶摘みや手もみ茶に挑戦したり、じゃがいもや夏野菜を育てて収穫したりと、様々な食育活動を行っています。活動を通して食べることに興味を持つだけでなく、五感を使ってたくさんのかことを感じてほしいと願っています。



【わ〜!ポコポコしてきたよ!】



【おにぎり作り、むずかしいな〜】

〈編集後記〉

私たち教育委員が牧之原市の姉妹都市である九州熊本県人吉市(相良氏の城下町でもあります)を訪れた時、人吉市の偉人を紹介する本をいただきました。私たちの郷土にも、その功績を後世に伝えていきたい偉人たちがたくさんいます。”ぜひ、牧之原市にも偉人たちを紹介する本が欲しい”その時抱いた思いが実を結び「牧之原市の偉人」が完成しました。ぜひ、一人でも多くの方に呼んでいただけることを願います。

★ご意見・ご感想はこちらまでお寄せください
教育委員会だより編集委員会
電話: 53-2642 FAX: 53-2657

〒421-0592 牧之原市相良 275
E-mail: kyoiku@city.makinohara.shizuoka.jp